

2025 GSS (グリーン・サポート・スタッフ) 活動の一コマ

吾妻山周辺森林生態系保護地域

令和7年7月1日 (水) (曇り) 天元台～大凹

湯元駅に「利用ガイド」を渡し、利用客に配ってもらうことにしました。

かもしか展望台までのオオシラビソは、昨年より元気があると感じました。

人形石から大凹までの立入禁止区域にロープを設置し、途中多くの登山者に声を掛けられ、元気をもらいました。

今年は雪が多かったため、例年より2週間ほど遅い夏山シーズンが6月20日にスタートしたばかりです。

大凹付近は、ご覧のとおりまだまだ残雪が・・・



令和7年7月8日 (火) (曇り) 滑川温泉～姥湯温泉～霧ノ平

霧ノ平までの登山道は、米沢山の会が手入れをしており良好でした。

姥湯温泉に「利用ガイド」を渡し、お客さんに配ってもらうことにしました。

温泉の家主に話を聞くと、登山客の宿泊は少ない→(登山道の整備状況が悪い)、利用者は日帰り温泉客が増えた→(秘湯ブーム)だそうです。

少しでも登山客が増えるように、社長自ら薬師森まで草刈しているとのこと・・・。



令和7年7月15日(火)(大雨) 白布峠～馬場谷地

駐車場には1台も車はありませんでした。登山道の倒木や枝を除去しながら登山道を進みます。



令和7年7月22日(火)(晴れ) 天元台～西吾妻山

天元台の駐車場には早くも30台(内県外ナンバー28台)、多くの登山客と会話できました。10時時点で、すでに48名の登山者がリフトを利用し吾妻連峰に入っていたそうです。



好天に恵まれ、絶好のパトロール日和です。
ゴゼンタチバナやモミジカラマツなどが出迎えてくれました。



令和7年7月 29日 (火) (晴れ) 滑川温泉～滑川大滝

吾妻連峰の板谷峠に位置し、電気も水道もない・・・昨今の秘湯ブームで人気の一軒宿、滑川温泉がスタート地点。ここから、約30分登った尾根に「日本の滝100選」のひとつ「滑川大滝」の展望台があります。

ここから、約30分登山道を下り、沢を歩くと滝つぼに到着。ここから見上げる滑川大滝はダイナミックで、炎天下でもマイナスイオン効果と涼しさを感じます。

登山道では多くの登山客と行き交い、山と滝と秘湯を愛する愛好家と話をすることができました。

